

第45回まちcomiリサーチ 『家庭と仕事の両立について』

ドリームエリア株式会社は、無料不審者情報配信ツール『まちcomiメール』を利用している保護者の方々を対象に、『家庭と仕事の両立について』のアンケートを実施いたしました。

<調査概要>

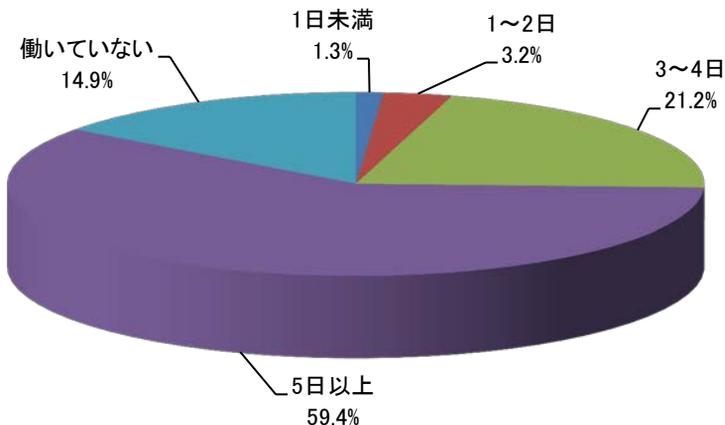
調査期間	2013年10月17日(木)～2013年10月20日(日)
調査方法	携帯サイト上のアンケートフォームにて回答
調査対象	『まちcomiメール』を利用した不審者情報を携帯で受信している保護者
調査対象数	1,098,486名
有効回答数	21,864件
寄付金額	今回21,864円 寄付先：認定NPO法人NPOカタリバ

<質問項目>

1	週に何日ぐらい働いていますか？
2	家庭と仕事の両立ができている・できると思いますか？
3	自分の時間を持てていますか？
4	家庭と仕事の両立をするための理想の働き方を教えてください。(いくつでも)
5	働く上でどんなときにやりがいを感じますか?(いくつでも)
6	家庭と仕事の両立をするために困ったこと・工夫していることを教えてください。(自由回答)
7	在宅勤務に興味はありますか？
8	在宅勤務で興味のあるものはどれですか？(いくつでも)
9	あなたの年齢を教えてください。
10	お住まいの地域を教えてください。

質問1:週に何日ぐらい働いていますか？

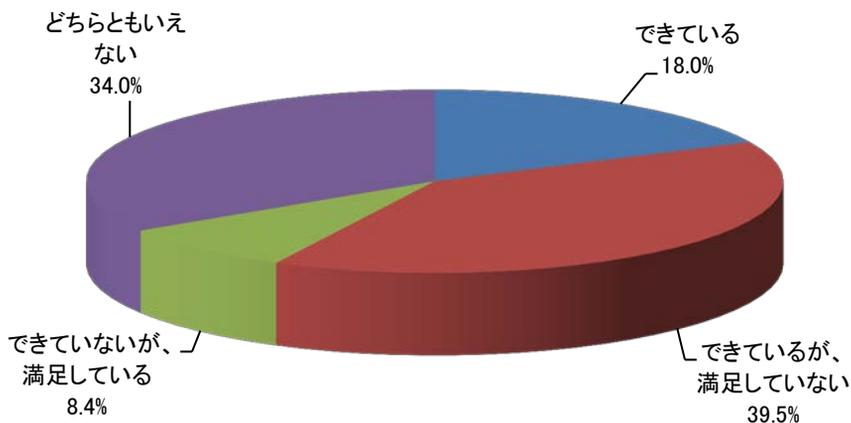
— 週5日以上働いている人が約6割と、家庭と仕事を両立されている人が多いとわかります



週5日以上働いている人が約60%、週3~4日の人と合わせると80%を超えました。仕事をされている人の殆どはフルタイムもしくはそれに近い働き方をされているようです。家庭と仕事の両立をするためにどのような工夫をされているのでしょうか。

質問2:家庭と仕事の両立ができている・できると思いますか？

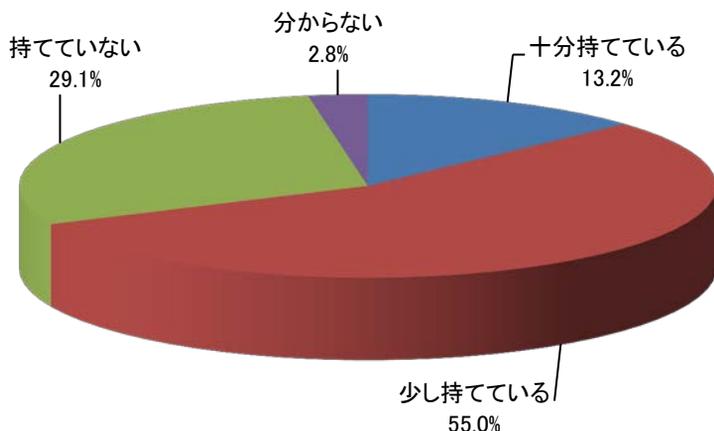
— 両立できてはいるものの、満足していない人が多いらっしゃいました



最も多い回答が、「できているが、満足していない」となり、両立すること自体はできていても、大変な様子が見えがえします。

質問3: 自分の時間を持っていますか？

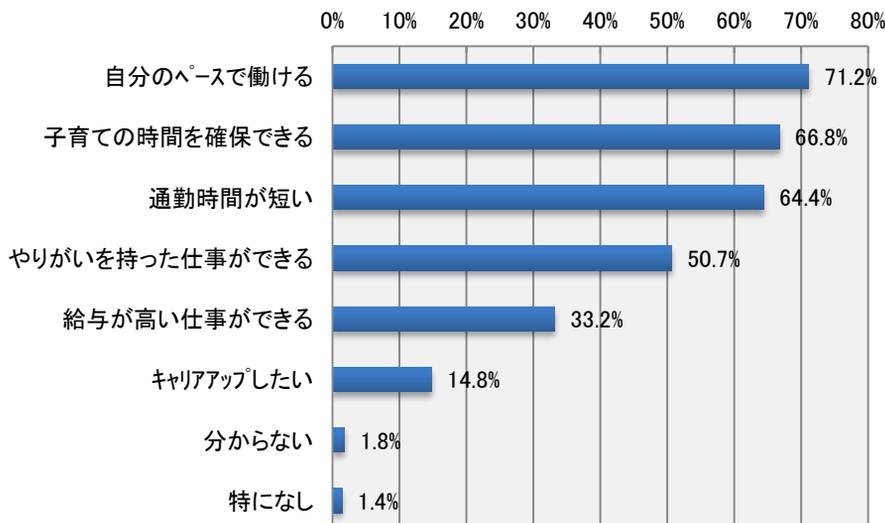
— 働きながら自分の時間を十分確保するのは難しいようです



半数以上の人々が「少しは自分の時間を持っている」と回答されているものの、「十分持っている」の回答は10%程度に留まりました。やはり家庭とお仕事を両立する中で、自分の時間を十分に確保する事は難しいようです。

質問4: 家庭と仕事の両立をするための理想の働き方を教えてください。(いくつでも)

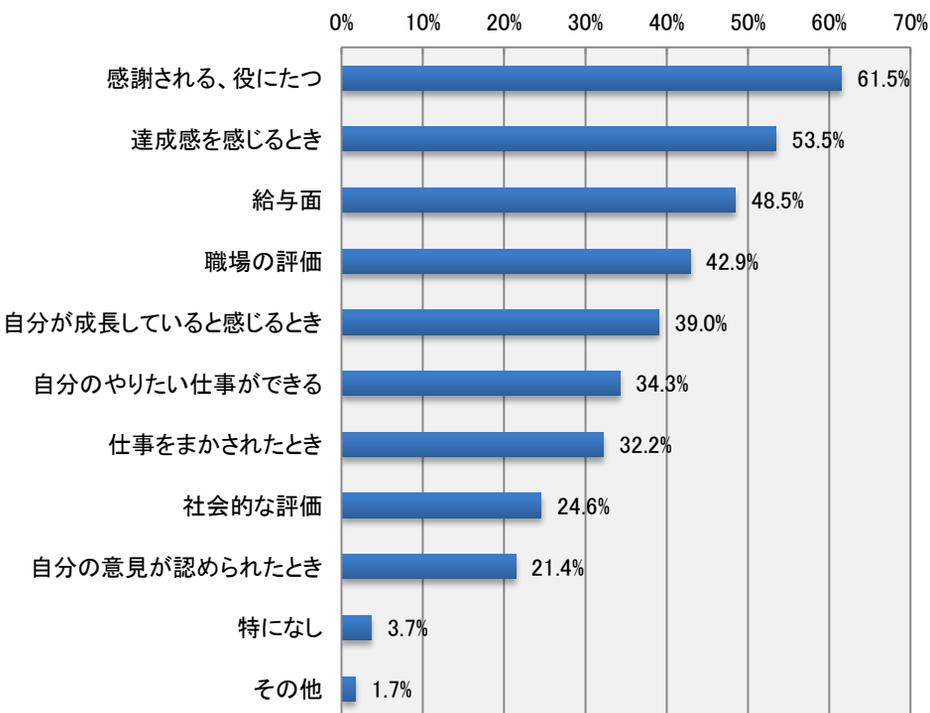
— 自分のペースで、かつやりがいを感じながら働くことが理想のようです



回答の多かった上位3つ「自分のペースで働ける」、「子育ての時間を確保できる」、「通勤時間が短い」より、家庭と仕事の両立のためには、時間の確保が一番重要なことが分かります。続いて多いのが、「やりがいを持った仕事ができる」となり、ご自身の充実度も重要視される人が多いようです。

質問5: 働く上でどんなときにやりがいを感じますか？(いくつでも)

— 「感謝される、役に立つ」という回答に多く集まりました



やりがいとして一番多く挙げられたのが「感謝される、役に立つ」、続いて「達成感を感じる時」でした。
 仕事にやりがいを感じ、前向きに取り組める状況であれば家庭との両立もしやすいのではないのでしょうか。

質問6: 家庭と仕事の両立をするために困ったこと・工夫していることを教えてください。(自由回答)

多くのご意見をいただきました。 ※以下、一部抜粋したものをご紹介します。 回答数:10,809件

<総評>

「困ったこと」で多かった回答は、やはりお子さまに関するものでした。

中でも圧倒的に多かったのは、急に子どもの具合が悪くなった時の対応でした。突発的な場合は子どものあずけ先もなかなか見つからず、仕事を休まなければいけません。職場の理解や周囲のフォローが必要な場面、おじいちゃん、おばあちゃんの協力が得られる場合は頼られている人が多いようです。

その他で多かったのは、職場の理解についてでした。

残業など拘束時間が長かったり、学校行事と大切な仕事が重なるなど調整が難しいといった意見が多く寄せられました。

「工夫していること」では、早朝や夜に家事をまとめて行なうなど、うまく時間を使っている人が多いようです。また、印象に残ったのは「頑張りすぎない」「適度に手を抜く」など、精神的に余裕を持つことを挙げられている人が多かったこと。

パートナーや子ども、周囲に協力してもらい、時間をコントロールして一人で頑張りすぎない事が両立の秘訣のようです。

<意見抜粋>**▼困ったこと**

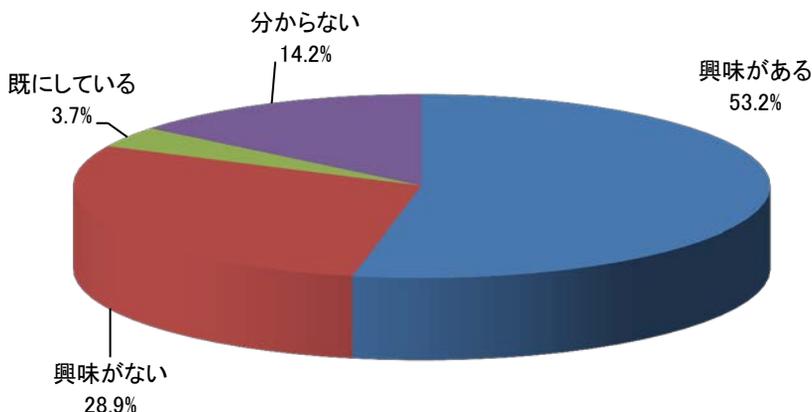
- こどもの病気で数日お休みをもらわないといけないうきに困ります。
- 子供が体調を崩しているのに仕事が休めないとき。
- 急な子供の病気で休むときの電話対応が冷たすぎる。休みたくて休んでいるわけじゃない。
- 帰宅時間が遅いため、子供のことがおろそかになりがち。
- 子どもだけで留守番をしなくてはいけない事がある。
- 残業になった時の子どもたちの迎えや夕食の準備。
- 学校行事が重なったり、平日に行なわれると仕事を休めなく困る。
- 急な残業をしなければならなくなる時。
- 勤務地が遠く、通勤時間が長い事。(片道2時間程)

▼工夫していること

- 家族の理解と協力を得る。
- 家事負担の均等化、互いの仕事への理解。
- 子供の帰りが早いので、祖父母に協力してもらっている。
- 祖父母の協力と体調管理。
- 頑張りすぎず、気持ちにゆとりを持つ事。
- 家事の手抜きも時には必要。
- あまり無理をしない。

質問7:在宅勤務に興味はありますか？

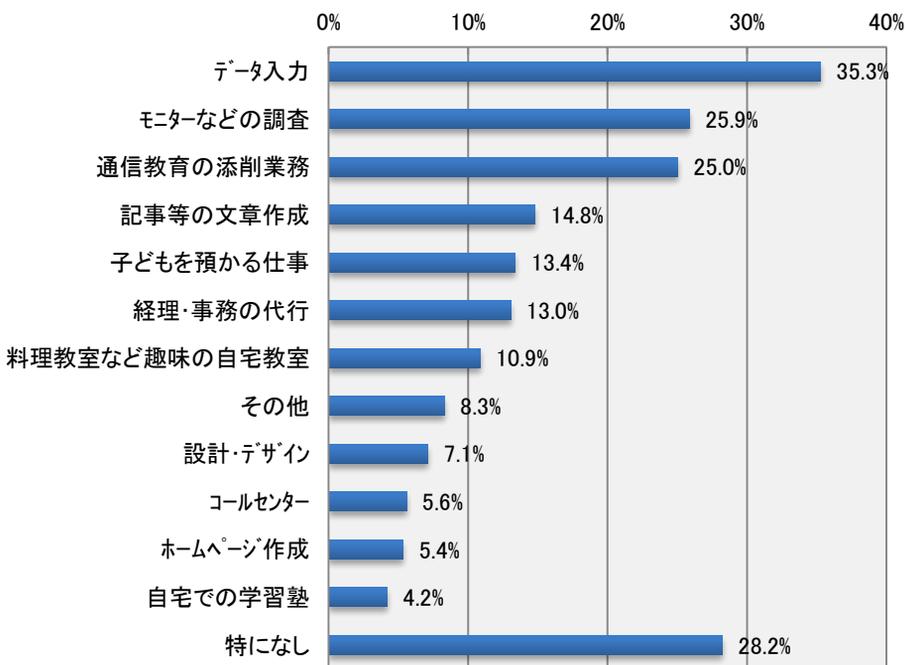
— 時間の使い方に融通がきく在宅勤務には、皆様興味をお持ちのようです



半数以上の方が在宅勤務に「興味がある」と回答されております。質問4で「自分のペースで働ける」に回答が多かったことから、家庭と仕事の両立には時間の効率的な使い方がポイントとなり、時間の使い方に融通がきく在宅勤務には魅力を感じられているようです。

質問8:在宅勤務で興味のあるものはどれですか？(いくつでも)

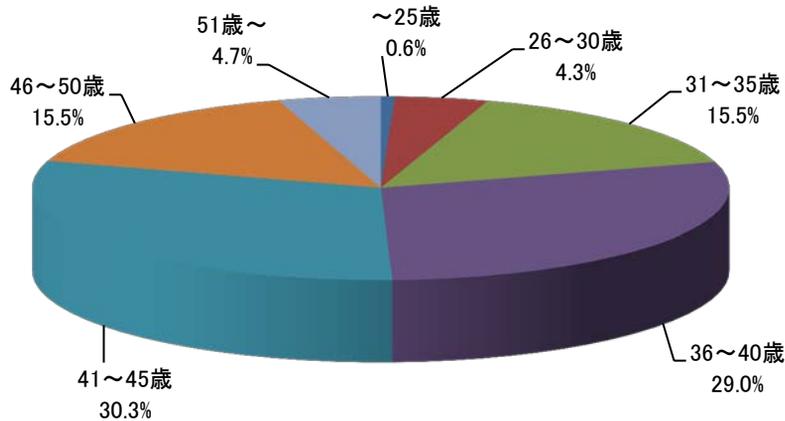
— 在宅勤務の仕事内容は様々であり、中身を知ることで働き方の幅が広がると思われます



「データ入力」や、「モニター調査」など、比較的手間がかからず行なえるものが人気ようです。質問7より、在宅勤務をされている人は、約4%という現状ですが、興味を持っている人は多くいらっしゃいます。どんな仕事があるのか、在宅勤務の中身を知ることで働き方の幅が広がっていくと思われます。

質問9: あなたの年齢を教えてください。

半数以上が30代後半～40代半ばの人になりました。



質問10: お住まいの地域を教えてください。

都道府県	人数	都道府県	人数	都道府県	人数
北海道	327	石川県	47	岡山県	15
青森県	303	福井県	9	広島県	190
岩手県	335	山梨県	106	山口県	249
宮城県	518	長野県	35	徳島県	438
秋田県	45	岐阜県	78	香川県	33
山形県	41	静岡県	689	愛媛県	512
福島県	455	愛知県	552	高知県	0
茨城県	1,819	三重県	979	福岡県	36
栃木県	199	滋賀県	175	佐賀県	218
群馬県	2	京都府	58	長崎県	24
埼玉県	1,130	大阪府	368	熊本県	58
千葉県	3,007	兵庫県	196	大分県	0
東京都	1,709	奈良県	233	宮崎県	575
神奈川県	5,219	和歌山県	41	鹿児島県	135
新潟県	108	鳥取県	461	沖縄県	69
富山県	5	島根県	63	合計	21,864

～まちcomiリサーチ:寄付金報告～

まちcomiリサーチでは【回答いただいた人数×1円】を各ボランティア団体やNPO法人へ寄付させていただいております。今回の皆様のご協力による寄付額と、現在までの合計額をご報告させていただきます。

第45回リサーチはご回答いただいた人数×1円をまちcomiから「[認定NPO法人 NPOカタリバ](#)」へ寄付します。今回は、NPOカタリバを通じて、東日本大震災で被災した子どもたちに学習指導や心のケアを行なうための放課後学校「コラボ・スクール」へ微力ながらご支援させていただきます。

- 今回の寄付額: 21,864円
- 今回までの合計額: 779,163円
- 今回の寄付先: [認定NPO法人 NPOカタリバ](#)

◆ 今までに寄付をさせていただいた施設

- ・認定NPO法人 児童虐待防止全国ネットワーク オレンジリボン事務局
- ・NPO法人 チャイルドライン支援センター
- ・国際援助団体(NGO) セーブ・ザ・チルドレン